

全日本調理師協会に 安倍晋三総理より 親書が送られました。

令和元年六月六日

全日本調理師協会の令和元年全日本調理師協会感謝祭にて、
内閣総理大臣 衆議院議員 安倍晋三先生より送られた
親書の全文を掲載します。

「令和」の時代が幕開けして一ヶ月が過ぎました。
全日本調理師協会におかれましては、この希望にあふれた新
時代、令和元年度の感謝祭が、全国より調理師諸団体を一堂に
会して盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

ご高承のとおり、我が国が近代国家の道を歩み始めて、早や
一世紀半、明治、大正、昭和、平成と、時代の変遷とともに日
本人の食生活、食文化も多様化したし、昨今は、家庭で作る料
理も洋の東西を問わず入り混じり、日本の伝統的な食文化、「和
食」は大きな変貌期を迎えております。

このような中、全日本調理師協会におかれましては、長い
歳月を培って完成された和食を伝承するという使命感を持たれ
て日々研鑽を積み、常に、安全安心な食の提供に心掛けられ
るとともに、時代に即した日本の食文化の向上にも努められ、
日本料理界の未来を背負って行かれる多くの門下生を世に輩出
されておられますことに深甚なる敬意を表します。

「和食は五感で楽しむ」と、よく言われます。日本の風土に
あわせた四季折々になされる心配りは、まさに和食の醍醐味で
あり、料理人と客人の気持ちが融和した瞬間でもあります。

そして、そこには日本人の「心」が宿っています。
貴業界は景気の動向に大きく影響されやすく、昭和のバブル
期、平成のリーマンショック、ドバイショック、ギリシャショ
ックにみられる世界同時不況、等々、何かとご苦労も多かった
ことと存じますが、近時、日本の和食がユネスコ無形文化遺産

に登録され、一躍、世界から脚光を浴びるようになりましたこ
とはまことに喜ばしい限りであります。全日本調理師協会名誉
会長の神田川俊郎先生におかれましては、農林水産省の日本食
普及の筆頭親善大使にご就任され、日本食の普及にご尽力、
ご貢献を賜りましたことに深く感謝申し上げますとともに、
麻生繁会長様におかれましては、長きにわたり、全日本調理師
協会の運営にあたられ、真の日本料理の探究とともに後進の指
導に努められ、業界の発展のみならず日本経済の活性化にも大
きく寄与されておられますことに深甚なる敬意を表します。

安倍政権では、観光立国の実現に向けてこれまで以上に観光
振興に力を入れ、さまざまな施策に取り組んでいるところであ
り、昨年十二月には、新たに観光立国推進基本法が成立し、
本年、一月一日より施行されています。

また、来年は東京オリンピック、パラリンピックが開幕し、
世界中から多くの観光客が訪日されます。日本人ならではの
細やかな心を込めたおもてなしで迎えたいと思っています。
勿論、皆様方にも存分に腕を振るっていただき、日本食の素晴
らしさを世界に発信いただけるものと期待いたしております。
結びに、全日本調理師協会並びに貴業界のますますのご発展
と皆様方のさらなるご活躍、ご健勝を祈念申し上げます、ご挨拶
といたします。

令和元年 六月六日

内閣総理大臣 衆議院議員 安倍晋三